

防衛省政策会議 議事要旨

日時：平成22年1月18日（月）午前8時00～9時22分

場所：衆議院第1議員会館 第1会議室

防衛省出席者：榛葉防衛副大臣、長島防衛大臣政務官、楠田防衛大臣政務官

議題：①ハイチにおける大地震に係る自衛隊派遣について

②平成22年度予算の概要について

③通常国会提出予定法案について

楠田政務官の司会により進行。

1. 案件①について国際協力課長から事実関係を報告。引き続き、案件②及び③について榛葉副大臣から説明。

2. 意見交換

【ハイチにおける大地震に係る自衛隊派遣について】

- 自衛隊が迅速に対応を行っていることは承知しているが、更に迅速な対応はできないのか。また、現地で情報収集活動を行っている外務省との連携はどうなっているのか。
- 日本として更に積極的かつ大規模な救援活動を行うべき。

（国際協力課長）

航空自衛隊のC-130輸送機を、救援に係る人員及び物資の輸送に活用できる旨を伝達する等、外務省とは出来る限り連携をとりながら対応しているところ。救援活動の迅速性については、今後も追求してまいりたい。

【平成22年度予算の概要について】

- 「平成22年度予算の考え方」の「3 留意事項」のうち、調達改革の記述において、オフセット取引に対して明示的な言及がないが、検討の対象に入っているのか。

（榛葉副大臣）

本予算案に直接オフセット取引は入っていないが、調達改革に関連する問題であるので、今後研究を行ってまいりたい。

- 予算案を作成する前に、脅威に関する認識及び対応策を政策会議の場で議論し、コンセンサスを得るべき。

（榛葉副大臣）

ご指摘の点については、防衛大綱の見直しを行う中で議論することが必要。

また、防衛省政策会議においても、日本を取り巻く安全保障環境について、テーマを絞り議論してまいりたい。

- 本予算案に盛り込まれている宇宙関連施策と、宇宙基本法及び民主党が作成した宇宙基本計画の関連について説明すべき。

(防衛計画課長)

防衛省として、宇宙基本法及び宇宙基本計画も踏まえ、宇宙の有効な活用の仕方について研究を行っている。

【通常国会提出予定法案について】

- 日・豪物品役務相互提供協定については、豪の現政権の対日姿勢を踏まえつつ、国家戦略の観点から考えるべき性質のものであるので、慎重に検討していただきたい。

【在日米軍再編について】

- 前政権の再編計画に基づき、淡々と予算を計上するのはおかしい。予算計上はやむを得ないとしても、予算執行の見直しもしくは停止を検討すべき。また、アメとムチというやり方で再編を進めるのはおかしいので、駐留軍等再編円滑化特別措置法についても再検討が必要。

- 在日米軍再編を進めるに当たっては、地元合意が前提となっているということを明確にすることが必要。

(榛葉副大臣)

アメとムチというやり方で予算を押しつける意図は全くない。理解を得ることの重要性は十分承知しており、地元に対し丁寧に説明してまいりたい。

- 沖縄の「負担」という言葉が頻繁に使われるが、「貢献」と言い換えるべき。沖縄は日本の安全保障に対して多大な貢献を行ってきたのであり、その貢献に応えることが必要。

(以上)